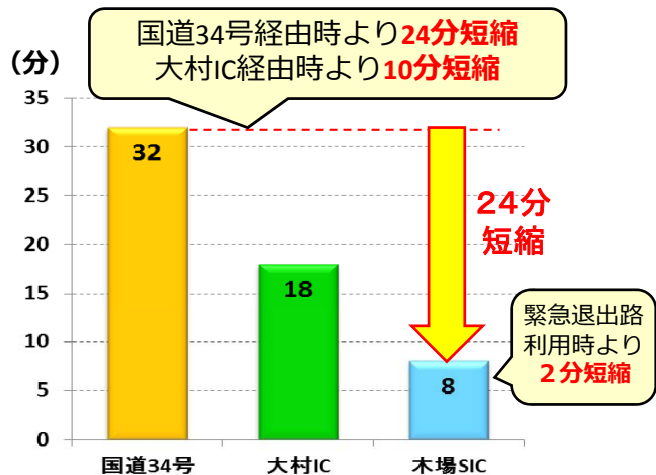


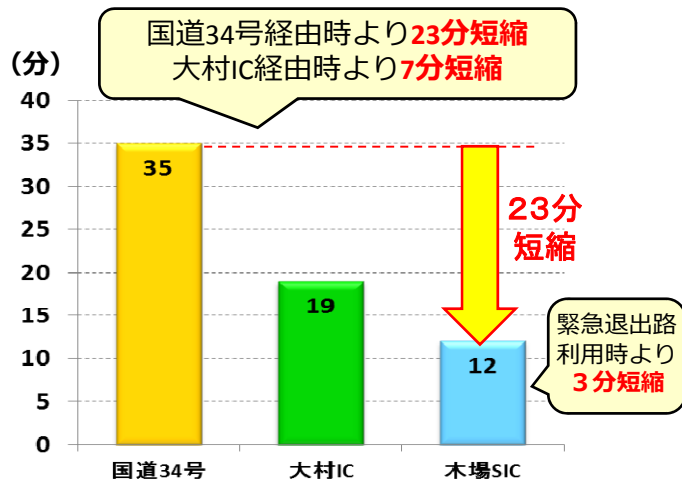
整備効果① 救急医療施設へのアクセス向上

別紙1

- 木場スマートICの開通によって、県央地区唯一の3次救急医療施設である**長崎医療センター**への来院の利便性が向上し、救急搬送、エムタック(医師同乗救急自動車)出動の迅速化
- 木場PA・BSに設置されている救急搬送用の緊急退出路で、門扉開閉や一般車との離合などにより発生している**患者への肉体的負担が軽減**



▲諫早ICから長崎医療センターへの所要時間



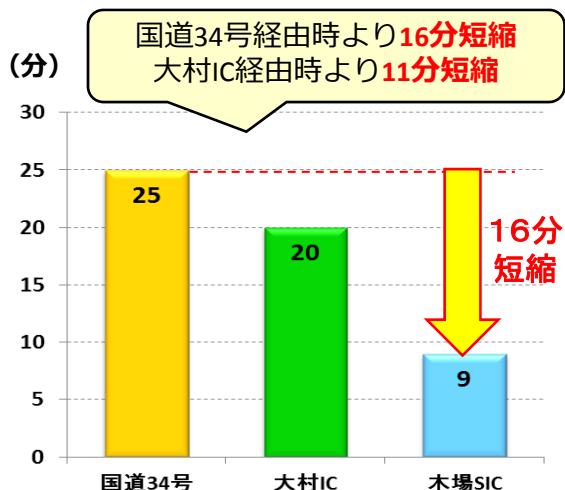
▲東そのぎICから長崎医療センターへの所要時間

資料：平成27年度全国道路・街路交通情勢調査（混雑時旅行速度）

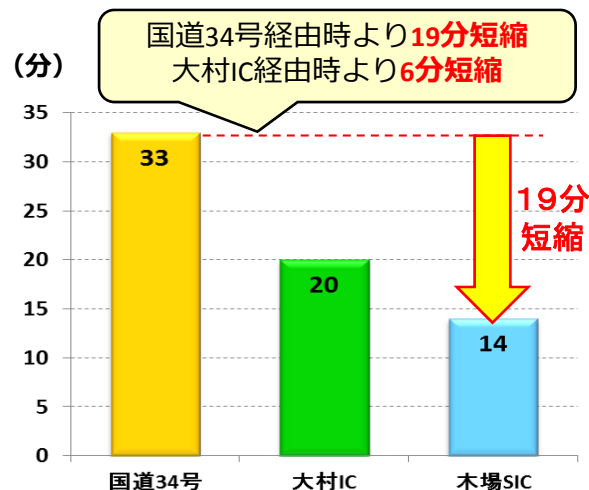
整備効果② 大村市南部集客施設へのアクセス向上

別紙2

- ・ 木場スマートICの開通により、県内外からの来場者が多い**大村市南部の観光・集客施設等へのアクセスが向上**
- ・ 多くのクルーズ船ツアーバスが訪れている大型免税店へのアクセス向上など、木場スマートICを活用した**新たな観光ルート**の形成を支援
- ・ 大村市南部地域からの**高速利用の利便性が大きく向上**



▲諫早ICから大村市役所への所要時間



▲東そのぎICから大村市役所への所要時間

資料：平成27年度全国道路・街路交通情勢調査（混雑時旅行速度）

整備効果③ 災害時のリダンダンシー確保

別紙3

- ・ 木場スマートICの開通によって、国道34号等が通行不能となった場合でも、県内外から防災拠点施設等への**確実なアクセスが確保され、円滑な災害活動を支援**
- ・ 広域災害拠点病院である長崎医療センターで実施している**DMAT(災害医療派遣チーム)**の**確実な災害派遣を支援**



熊本地震時における災害支援状況 (全国各地から集結したDMAT)



整備効果④ 交通混雑の緩和

別紙4

- ・ 木場スマートICの開通によって、大村市南部地域へのアクセスが向上し、一部の交通が**国道34号からE34 長崎自動車道へ転換**
- ・ 直轄国道の2車線区間で九州第2位の交通量である**国道34号(大村市与崎～諫早市本野)**の交通分散



※混雑度は平成27年度全国道路・街路交通情勢調査より算定

※交通量推計は実施計画書より抜粋



国道34号渋滞状況(岩松駅付近)



国道34号渋滞状況(鈴田峠付近)